



平成 30 年 7 月 4 日

## 日本財団「わがまち基金」地方創生支援スキームを活用した 「まちの編集社」の創設について

▼しのめ信用金庫（本店＝群馬県富岡市、理事長 横山慶一）は、平成 30 年 7 月 2 日付けで、日本財団「わがまち基金」地方創生支援スキーム※に係る助成金を活用し、地域の「編集」を通じた地方創生支援事業「まちの編集社」の取り組みを開始いたしました。

「まちの編集社」は主に上信電鉄沿線において、社会的課題の解決や、地域資源を活用した地域活性化に向けた価値ある事業を行っている団体や事業者の方々に対して、地域で活躍するデザイナーやクリエイターを結びつけ、社会性やデザイン性という観点から、事業価値の再発見や磨き上げ、再構築を図っていく取り組みです。

上信電鉄沿線は、2つの世界遺産を筆頭に「文化資源」「観光資源」が豊富な土地であり、また社会的課題の解決や地域活性化に向けた取り組みを行っている団体（「人」）も存在しています。しかしながら、これらの「資源」や「人」を十分活かしているとはいえません。そのような状況下において、地域の情報と地域内外で繋げる力を持つ信用金庫と、発信力のあるデザインや、事業の社会性に対する感度の高いデザイナーやクリエイターが力を結集することで、事業や地域を「再編集」し「まち」の魅力や付加価値の向上を目指します。

▼編集対象事業の情報発信については、SNSを含めた各種メディアを通じて積極的に行うことで、社会的課題の解決や地域活性化等の活動が好きな人々（潜在的フォロワー）と各取り組みを結びつけ、新たな需要を喚起し、地域の更なる活性化に繋がっていきます。

▼本取り組みにおいては、地域活性化のために古くて味わいのある物件や改装可能な特徴ある物件の不動産仲介を主たる業としている、株式会社まちごと屋（群馬県高崎市、代表取締役 大澤博史）を事業パートナーとし、「まちの編集社」による事業や地域の編集に一体となり取り組んでいきます。

▼当金庫の役職員においては、本取り組みを通じて、従前の金融の枠組みを超えた活動を地域に溶け込んで行っていくことで、地域活性化のための「地方創生マインド」を醸成していきます。



しのめ信用金庫

〒370-2316 群馬県富岡市富岡1123番地  
電話（代表） 0274-62-3146



▼「まちの編集社」設立のシードマネーおよび地域課題解決や地域活性化に資する取り組みに対する助成金の一部として、日本財団「わがまち基金」を活用してまいります。

※日本財団「わがまち基金」地方創生支援スキームの概要…

日本財団「わがまち基金」とは地域に新たなお金の流れを創出することで、地域の課題解決及び地域の明るい未来の実現に向けた事業や担い手の育成を支援し、地域が独自の強みを活かした自律的かつ持続的な社会の創生を図ることを目的としたプロジェクトです。地方創生支援スキームは日本財団と信金中央金庫との連携により、前述の目的達成のために取り組む全国の信用金庫等に対し、助成金を交付するものです。

以上



**しなのめ信用金庫**

〒370-2316 群馬県富岡市富岡1123番地  
電話（代表） 0274-62-3146